

筑波ロードレース選手権シリーズ  
エントラント各位

筑波ロードレース選手権シリーズ  
大会事務局

## 2026 年度 国内競技規則 リアブレーキマスターシリンダーへのリターンズプリング追加に関して

日頃より、筑波サーキットをご利用いただき誠にありがとうございます。

2026 年度

MFJ 国内競技規則、ST1000、ST600、JP-SPORT 各クラス技術仕様「ブレーキ」項目内、リアブレーキマスターシリンダーについて、MFJ よりインフォメーションが発行されました。

今後は、下記内容に基づいて運用されますので、お含みおきください。

### 記

【対象規則】：ブレーキ（リアマスターシリンダーに関する内容を抜粋）

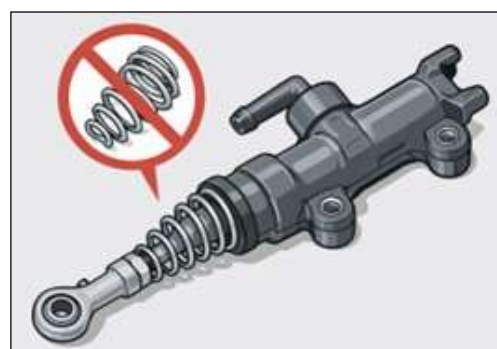
| クラス      | 規則書項目            | 規則書内容                                                                                                                             |
|----------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ST1000   | 付則 9<br>7-3-7-11 | フロントマスターシリンダー（ブレーキリザーバータンク含む）の変更が認められる。 <u>リアマスターシリンダーは公認車両の状態を維持していなければならない。</u> フロントとリアのブレーキリザーバータンクの取り付け位置の変更およびステーの変更／追加を認める。 |
| ST600    |                  | リアマスターシリンダーに関する記載はなし。                                                                                                             |
| JP-SPORT | 付則 11<br>7-3-7-6 | フロントとリアブレーキキャリパー(マウント、キャリア、ハンガー)と <u>マスターシリンダーは、車両公認時のものでなければならない。</u>                                                            |

ST1000・JP-SPORT では上記の規則書抜粋にリアマスターシリンダーは公認時の状態を維持することが記載されており、ST600 では規則書に記載がありません（＝改造・変更は不可）。

リアマスターシリンダーのプッシュロッド部分は、各車両メーカーのパーツリストではリアマスターシリンダーASSY の中の部分となっており、ST 車両の規則のベースとなっている FIM EWC SST クラスでもリアマスターシリンダーは公認時の状態を維持することが明記されています。

上記から ST1000・ST600・JP-SPORT ではリアマスターシリンダー部分へのリターンズプリング追加はこれらの規則内容から改造（＝オリジナル（車両公認時に装着されたもの）のパーツに対し切削、追加、研磨を行う行為）となり、車両規則違反となりますので、ご注意くださいようお願いいたします。

ただし、リアマスターシリンダープッシュロッド端部（ペダルと接合される部分）をピロボールに変更することは、当該箇所が「リアマスターシリンダーASSY」の一部ではないと解釈されるため、車両規則違反とはなりません。



以上